

林檎の森

りんごのもり

9
2019
vol.446



特集 1

JA相馬村納涼感謝祭開催

特集 2

安定的な収益向上策への挑戦

JA相馬村納涼感謝祭開催

～SINCE1964 感謝を伝えよう～



地域一体となってステージパフォーマンスを彩る

8月3日、5年ぶりに「JA相馬村納涼感謝祭2019」が開催された。サブタイトルにもあるように1964年からJA相馬村は地域の方々に支えられているが、改めて地域住民の方にJAは近い存在であるという事を感じてもらう為に今回開催を決めた。

開会の挨拶では大場勉専務理事が「組合員や地域の方には日頃JAをご利用頂き本当に感謝しています。今日は多くのアトラクションを用意しているので、目一杯楽しんで日頃の農作業などの疲れをリフレッシュして下さい」と訪れた方に感謝の意を述べた。

メインステージ脇には相馬ねぶた愛好会の本ねぶたと前ねぶたが飾られ、地域が一体となり納涼祭を夏色に染め、訪れた人は日中に見るねぶたを楽しんでいた。

また、会場にはビールやファストフードの出店や、射的などの縁日、豪華賞品盛り沢山の抽選会、五つのステージパフォーマンスが用意され、来場者が楽しむ様子が多く見られた。



ビアガーデン コーナー

会場内で一際盛り上がりを見せたビアガーデンコーナーでは、ビールとホタテやサザエ等を堪能し楽しむ方が多く見られ、地域の方と会話を弾ませリフレッシュしていた。他にもアイスやかき氷等もあり子供達も多く足を運び涼んでいた。



真夏日には冷たいジュースがピッタリ



幅広い年齢層から大人気のかき氷



新鮮なホタテをお客さんの目の前で焼く

縁日コーナー

子供達で賑わった縁日コーナーはストラックアウト、射的、絵描きせんべいや人形すくい、千本引きで楽しんでいた。

男の子達は射的、女の子達は絵描きせんべいなどが人気で大盛況であった。親子で足を運んだ方たちはその遊びのコツを教えてもらいながら楽しんでいた。



欲しい景品に狙いを定めて集中



欲しいキャラクターをすくうぞ！



自分だけのオリジナルせんべい作りに夢中

リレー抽選会55



納涼祭の中盤にはリレー抽選会55が開催され、多くの来場者が参加した。55周年にちなみ景品は55個用意された。県産品セットや洗剤セット、スタンド3000円券、直売所1000円券、そして何より来場者の目を引き付けたのは一等賞の40型4k液晶テレビであった。

このリレー抽選会は当選者が次の当選者を抽選するというシステムでリレー方式に行われ、抽選箱を持ったJA職員ランナーが会場内を走りまわった。

この納涼祭の司会を務めたアツプルウエーブパーソナリティの増田由美子さんは、大場専務と景品紹介を行い、当選者との会話も交え、会場を盛り上げていた。子供達から年配の方まで多くの方が当選し、喜びと驚きの姿を同時に見ることが出来た。

最後に一等賞の抽選を大場専務が行い、見事40型テレビが当たった来場者は「まさか自分が当たると思わなかったが当選出来てとてもうれしい」と引き当てた大場専務に感謝を述べていた。

当選者スマイル集



ステージ パフォーマンス

5種類のステージパフォーマンスが納涼祭を一気に熱くさせた。

相馬地区で練習を行っているダンスチーム「Little SWEETS」をはじめ、佐藤ぶん太さんと和太鼓演奏者の大沢しのぶさんのコラボパフォーマンスや弘前中央高校の書道部による書道パフォーマンス、東北ナンバーワンの大道芸人アットさん、会場が最高潮に盛り上がったのは高瀬まみ歌謡ショーで、来場した方々は高瀬まみワールドに引き込まれていた。



坂本九の「上を向て歩こう」の曲に合わせてパフォーマンス



曲の歌詞と納涼祭テーマの「感謝」が書かれた



練習の成果を精一杯披露していた「Little SWEETS」



東北No1の技で見る人を魅了していた



世界的和太鼓演奏者と佐藤ぶん太さんの笛が夏を彩る



高瀬まみさんの近くで聞く歌声に圧倒される



ショーの最後に歌に合わせて来場者で盆踊り

世界に広がるリンゴ高密度植わい化栽培は、園地の光利用率を高めて高品質果実の早期多収と均質生産を継続することで、投下資本の早期回収を図っている。また、我が国においては、リンゴ生産者の高齢化や後継者不足、労働力不足などを背景に早期多収・省力化・果実商品化率の向上・作業管理の単純化など目指していることから、高密度栽培への関心が高まっている。今回は、普及が拡大している長野県を視察したことから情報を共有し、この栽培方法の魅力を一部紹介したいと思う。

景観と生産力の高さ

綺麗な芝生、そして、トレリスとともに列なる無数のリンゴ樹。10aあたり300本越えのリンゴ高密度植わい化栽培は、その景観に圧倒されるほか、高い生産力と収益性向上で世界各国のリンゴ生産者を魅了している。本国のリンゴ産地においては、新規就農者やIターン就農者をはじめとする若手初心者の取り組みが伺えるほか、高収量と省力性を求めて着手する生産者も増えつつある。新規就農

特集-2 安定的な収益向上策への挑戦

魅力的な栽培から見える課題と現状

リンゴ高密度植

早期多収 均質生産 省力低コスト

ない魅力的な栽培方法であると言えよう。

高密度だと、 なぜ収量性があがるのか

3mの樹高、側枝の下垂誘引、3~3.5mの列間、0.8~1mの樹間という栽培様式が普及するようになってから高品質果実の多収が可能となったリンゴ高密度植わい化栽培。効率的な果実生産には、樹形が小さく・樹冠幅の狭いリンゴ樹を並木状に植えることが有利とされており、収量性があがるのは、ただ単に栽植本数が多いからという理由だけではない。また、果樹栽培の生産性向上には、太陽エネルギーをいかに効率良く樹冠内に採り入れられるかが大きく関係している。フェザー発生で多くの葉

者やIターン就農者が取り組む理由の一つとして、早期多収は基よりの、剪定技術の単純化など、高度な栽培技術や知識を持たなくとも管理が可能という点が挙げられる。作業管理については従来までと大きく異なり、莫大な花摘みと側枝の下垂誘引が必要であることを忘れてはならない。前段にもあるように、10aあたり300本を超え高密度植栽培であることから、省力性や作業性向上を掲げておきながら、決して作業管理が楽な訳ではないのだ。多くの利点を兼ね



密植効果

栽植密度を高めるとことで樹の生育が抑制されることを「密植効果」という。隣接樹との競合によってお互いに牽制しあって生育抑制が生じると考えられており、これは根の伸長抑制や樹冠の競合が樹体の小型化に関係している。近年は、品種によって密植距離が異なっており、ふじで70~80cm、つがるの場合は50~70cmが基本となっている。株間が広いと側枝が非常に多く出ることから、高密度植わい化栽培は品種によって株間にもポイントがあり、株間が広すぎると整枝剪定などが困難になるとされている。



植替更新

現在、高密植わい化栽培は約15年での植替え更新が必要とされており、早期に樹体が大きくなり過ぎた場合には、更に早い植替え更新が求められる。まず、本県においては、フェザー苗の確保が間に合わないことも懸念されることから、苗木の確保については大きな課題となっている。また、15年後に同じ場所で植替え更新及び改植する場合は、天地返し、石灰や鶏糞を投入するなど、出来る限り土づくりをしてから置き植えすることが大切だ。基本的には土壤消毒はせず、紋羽病が懸念される場合は、株元に3年間フロンサイドを灌注すると良い。

が確保できる高密植わい化栽培は、太陽光の効率的な利用で光合成能力を高め、果実により多くの栄養を分配させており、光線利用率が大きいことはその景観から見ても一目瞭然だ。樹冠内まで光を行き渡せるために光環境が重要であることは、従来までの剪定技術からみても理解できるはずであるが、果実肥大や着色管理、花芽形成などの多くは光環境がどれだけ好適に保たれるかが鍵を握っており、高密植わい化栽培は光環境からみても収量性をあげること非常に有利であると云える。

作業管理と労働力確保

定植後の1〜3年間は株元の土壌管理が重要であり、窒素施肥、樹冠下の雑草防除、灌水が高密植

栽培成功の良否を分けるとされている。また、定植時に主幹と競争する太いフェザーや側枝は基部で切り取り、それより細いものはひたすら下垂誘引して管理することが求められる。下垂誘引は花芽形成を促進するほか、樹形をコンパクトに保つために欠かせることのできない作業でとなっている。高密植わい化栽培は冬の剪定作業が軽減される反面、下垂誘引の重要性を理解する必要がある、毎年徹底して行わなくてはならない。

また、高密植わい化栽培は、片手の届く範囲で60%以上の作業が

リンゴ高密植わい化栽培／長野県伊那市



誰でも出来る「わい化栽培」で労働力不足解消も視野に

地上部から可能となる。下垂誘引や花摘み、着色管理や収穫作業など雇用者に対しても作業性の向上が図られている。近年、雇用者の確保が困難となっている我々産地にとって、高密植栽培における作業の単純化により、リンゴ作業未経験者であっても管理しやすいことから雇用範囲が幅広くなっていることも利点として挙げられる。生産者の高齢化や後継者不足、労働力不足を背景に産地が頭を抱えている中で、この栽培方法が産地として生産量減少に歯止めをかけることに

繋がるかもしれない。

先を見越して判断

高密植栽培においては、干害・凍害・雪害・野ネズミ害などに注意しなくてはならない反面もある。青森県においては、長野県に比べて積雪量が大きな壁ともなっていることから、高密植わい化栽培のリスクは大きいことも伺える。また、トリスや大量のフェザー苗木による初期投資も大きいことから、初期投資の早期回収に向けてこの栽培方法を成功させるためには計画性を持って精査していく必要がある。植替え更新については、約15年程度とされていることから、フェザー苗木の確保においても急務とされおり、多くの魅力を兼ね備えたこの栽培方法は利点だけではなく、リスクもあることを忘れてはならない。

その一方で、近未来的なこの「夢」のある栽培方法が成功したときには、きっと我々リンゴ産地にとって大きな力を発揮するものとみて紹介しておきたい「リンゴ高密植わい化栽培」であった。

(参考：リンゴの高密植栽培)

いもち病空散防除

01

順調に水稻の生育が進んでいる中8月3日、当JA青年部の水田のいもち病に対する空散防除が行われた。

青年部員の中に無人ヘリコプターを操作できる人が多く居る中、元青年部長の林崎孝人さんがオペレーターを務め、15aを散布した。水田を2往復したが1分かららずに終える事が出来た。

見ていた青年部員は先輩の背中を見て散布の仕方やスピードを見て話し合いながら学んでいた。



ヘリコプターの風圧と音が響いた

病害虫防除に一致団結

02

8月9日、五所地区の田沢稔さんと三和地区で桃園を営んでいる増田誠さんが相馬管内の桃を栽培している園地を周り生熊の現状を確認した。

せん孔細菌病やナシヒメシンクイなどが見られたが中でも頭を悩ませていたのがサクセスキウムシという害虫の被害であった。

桃を栽培する同志として色々な知識と情報を交換しこれからの管理や防除について話し合っていた。



キクイムシの被害痕を見つける増田さん

今年度初選果開始

03

8月9日から恋空の入庫が相馬支所にて始まり、8月15日、今年度最初の選果が始まった。

今年度の恋空は46玉中心のものが多い状況だったと山内耕平販売課センター長は述べた。

また、入庫量は1588箱と去年度と同程度の入庫量となった。これから早生ふじなどの取り扱い品種が多い入庫も控えていることからスムーズに生産者に対応できるようにしていきたい。



新鮮さを維持した恋空がトレイに載せられる

先端農業技術実演

04

労働力不足に対応する為8月19日、弘前市の石岡紫織氏の園地にて先端技術・機械実演会が行われ、農業者や関係機関が集まった。

実演にはロボット草刈り機を使用して行われ、自動走行の様子や機械についての説明がされた。石岡さんの園地にて機械のモニターが行われており、「乗用機械の方が早いという意見もあるが、時間がかかる分動いている時間が多い為ネズミ穴が減ったり、何より危なくなくて良い」と使ってみての感想を伝えていた。



ロボットを使用しての感想を述べる石岡さん



仕立てのポイントに聞き入る会員

相馬地区支会連合会では8月22日、夏季研修としてJAつがる弘前でなっている新しい栽培方法と昨年度農林水産大臣賞を受賞した下山茂氏と成田淳逸氏の園地を視察した。

JAつがる弘前では「ジョイント栽培」「ツールスピンドル栽培」「朝日ロンパス栽培」の3種を試験的に行っており、「より生産者がこれらの栽培を現実的なものに出るような目線で取り組んでい」と今回講師を務めた廣田廣史ひろなか（ひろなか）JAつがる弘前指導部指導課長は重点を置いて説明していた。

topics

多種多様な
栽培方法を学ぶ

05



収穫適期の色合いを確認する生産者

今年最後の巡回講座が8月23日に各地区で行われた。着色管理や今年度の病害虫発生状況、これらの散布計画が話され、販売課からつがるときおの目合わせが行われた。また、イフコでの入庫時の注意点が話されたほか、生産者からの多くの質問が寄せられ理解を深めていた。

さらに、高値精算を目指すため、収穫したりんごは早期入庫を徹底してもらおうよう再確認していた。

topics

生産者との目揃え行う

06



意見を出し合い評価基準を定める

りんご評価員と当JA職員は8月26日、りんご目揃えを行なった。今回おのの評価を行い色・玉揃・量目・欠点・総合のそれぞれ評価基準を決めた。

黄色品種の為、色の程度の判断が難しい状況ではあったが、全員が基準のものをしっかり把握しこれからの評価に備えていた。

topics

りんご評価員
目揃えする

07



スイッチと共に選果機全体が動きだした。

昨年10月に計画を行い8月29日、新型選果機「フリートレー式選果機」が無事完成し、完成を祝う竣工式が行われた。

式には工事関係者や取引先市場関係者など76名が出席した。祈願や玉串奉奠終了後、竣工始動セレモニーが行われ、組合長はじめ弘前市長ら6名が選果機始動のスイッチを押し、出席者全員で稼働を喜んだ。

topics

新型選果機完成を祝う

08



○りんご作業 (9/15~10/15)

管内のりんごの肥大は、9月2日の調査でふじが77・7ミリと昨年と比べ2日ほど早い生育となっております。

今後は、台風が発生が懸念される為警戒が必要です。防風網や支柱などを点検し、気象情報には十分注意して下さい。

管内のりんご肥大状況 (9月2日調査)

| | 湯口 | 紙漉沢 | 相馬 | 平均 | 平年比 |
|-----|------|------|------|------|--------|
| 王 林 | 74.9 | 73.8 | 77.5 | 75.4 | 104.9% |
| ふ じ | 77.8 | 77.6 | 77.8 | 77.7 | 106.1% |

※単位は (mm) 平年比は過去10年間の値

●除袋時の注意

除袋の際はりんごの果面焼けを出さないために次のような注意が必要です。

- ・一般的な二重袋では、まず外袋をはぎ、果実の色が黄色みがかつた時、あるいは薄い縞が入った時に内袋をはいで下さい。
- ・一発袋をはぐ場合には、曇天か晴天の日中 (10時~14時) に行ってください。

また、外袋をはぐタイミングで果実に密着している葉を摘み取るようにしましょう。これは着色ムラをなくし、ハマキムシ類の被害を予防する場合にも有効です。

●被害を拡大させないために

黒星病・炭そ病等の被害果は、被害拡大を防ぐためにも、見つけ次第摘み取り、土中に埋めるなど適切な処理をしましょう。

果実に発生する疫病は、降雨時の収穫等によって、果実に泥が付着することで、冷蔵庫内や出荷先

にて発病することから、降雨時の収穫の際にはできるだけ果実に泥を付着させないように収穫力コの底にネットを敷き、収穫力コを直接地面に置かないなどの工夫が必要となります。落とした果実を収穫果に混ぜたり、泥のついた手袋などでは果実に触らないようにしましょう。

●農作業事故には十分注意を

これからの時期は、夕暮れが早く農作業も忙しくなります。機械の取り扱いや、ハシゴの上り下りをする際は十分注意し、事故やケガのないように農作業を行いましょう。

2019年 農作物防除記録の回収について

●農作物防除記録の記入例●

農協提出用

2019年度 農産物 防除記録

地区 飛馬 太郎 コード番号 0 1 0 0 1 0 1 0
氏名 五所 共防名 _____

| SSタンク容量 | 散布面積 |
|---|------------------------|
| 500・600・ 1000 (ℓ) <small>※いずれかに○を付けてください。</small> | 1 町 1 反歩 |

作物名 _____

共同防除 (共防連加入) の場合は提出不要 (りんごのみ)

| | 散布期間 | 散布杯数 | 薬剤名 (倍数) |
|---|---------------------------------|-------------------------------|---|
| 1 | 4 月 25 日 ~ 月 日 | 1000 ℓ 1 (杯) | マシン油 (200) ペフラン (1000) |

※共同防除 (共防連加入) の場合は提出不要です。(りんごに限る)

※共防連に加入していない共防は代表者が一括して提出しても構いませんが、構成員全員の名前を記入して下さい。

10月上旬に、職員が今年度の「農作物防除記録」の回収に伺います。記入例を参考に、「誓約書」と併せて必ず提出くださるようお願い致します。
なお、「りんご生産量調査」等については12月上旬に回収いたします。

果実販売動向

販売課 米澤 松太



8月の果実動向は、全般に入荷が少なく、多くの品目で平年を上回る市況展開となっております。スイカ・メロンについては終盤を迎えていることから総体量が少なく、下位等級品も含め高値基調の販売となっております。なし・ぶどうについては、秋のメイン商材として売り場が拡大されていますが、各産地入荷が少なく、堅調な販売が続いています。

桃については、各産地とも小玉傾向に加え数量減から強保合となりましたが、品質低下も散見され、下位等級については弱保合となりました。りんごについては、30年産が切り上がり、長野県産サンツがるが着色遅れ等による入荷の少なから高値基調でのスタートとなりましたが、色薄果が潤沢に出回ったことや、一部害害果もあり、下位等級品を中心に一段下げでの販売となりました。また、きおうについては本県産がスタートし、

黄色系が少ないことや、香港、台湾向け需要から順調な販売開始となりました。連動して産地市場も堅調価格となっております。

今後、桃については、更に流通量の減少が見込まれることから、中心階級および上位等級については特に引き合いが強まる見通しであり、なし・ぶどうについてはさらに売場拡大が図られる見込みですが、総体量が多くはないことから堅調な販売が続く見通しです。りんごについては、長野県産サンツがるがピークを迎え、末端では価格を下げながら積極的な売り場展開図られる見込みの中、色薄果等の下位等級品の割合が高いことから上位等級、本県産への引き合いは強い状況が予想されますが、他県産の進度がやや遅れていることから販売状況は厳しくなることが予想されますので、企画販売に積極的に取り組むとともに、作業員の減少が深刻な状況となっております。

る中、大学生アルバイトや、外国人研修生、「職員職場離脱」の実施により、有利販売に努力します。

りんごの予想収穫量及び結果樹面積

青森県「攻めの農林水産業」推進本部公表

| 品 種 | ふ じ | 王 林 | ジョナ | つがる | その他 | 合 計 |
|----------------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 予 想 収 穫 量 (t) | 214,700 | 43,600 | 40,300 | 40,400 | 96,500 | 435,500 |
| 前 年 比 (%) | 96 | 105 | 103 | 97 | 98 | 98 |
| 結 果 樹 面 積 (ha) | 9,460 | 2,110 | 1,950 | 2,270 | 3,910 | 19,700 |
| 前 年 比 (%) | 99 | 99 | 98 | 100 | 100 | 99 |

加工用リンゴ買取実施

- 受付期間● 令和元年9月28日(土) 8:00~17:00
- 受付場所● J A相馬村りんご加工センターA棟(旧紙漉沢支所跡)
- 持ち込み方法● 木箱や自家用コンテナ、J Aコンテナに入れて持ち込みください。
- 買取品種● つがる・きおう
その他の品種
※当日の価格になります。
※落ち実加工、腐敗果等は絶対に混入しないでください。



直売所「林檎の森」

直売所 千葉翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当直売所には、会員の方々が丹精を込めて作った新鮮で美味しい野菜や果物、惣菜が毎日たくさん並んでいます。スイカやメロンについては旬の季節が終了し、大盛況の賑わいを見せて完売いたしました。一方、嶽きみやりんごなどの入荷が増えてきています。嶽きみは最近小さいサイズの販売をしている事が多いものの、プリプリの食感と独特な甘味のある美味しさは間違いなしです。毎日のように発送や電話での注文が来ており大人気です。

さて、最近は山のキノコ類の入荷がされてきました。これから、今以上に山の幸が出てくると思いますので、この秋にしか味わうことの出来ない食材を堪能してみてくださいいかがでしょうか。

また、果物はつがるやきおうなごのりんごは、甘味と酸味のバラ



嶽キミの一種「^{めくみ}患味」が店頭に並ぶ

ンスが特徴的です。「林檎の森」に立ち寄った際は、旬なりんごを味わってみてはいかがでしょうか。

9月に入ると、本格的にりんごが入荷され、陳列棚は甘味と酸味が特徴の早生種のりんごが多い一方で、これからは徐々に甘味と酸味の深い中生種や晩生種のりんごが多くなってきます。りんごの発送も受付しておりますのでお気軽にスタッフまで一声おかけください。これからも直売所「林檎の森」をよろしくお祈いします。

いきいき女性部通信

農業振興課 女性部 堀井裕子



8月9日、農協女性部は夏期研修を実施し、今回の研修では平成23年に発生した東日本大震災で津波から残った田老観光ホテル跡地と浄土ヶ浜を訪れ、32名の部員が参加しました。

学ぶ防災ということ、津波が襲来する様子をホテル6階から撮影したのを見てきました。6階建ての建物が4階まで浸水し、1階は完全に破壊され、今もなおホテルの骨組がむき出しの状態に残されており、その姿からは津波の恐ろしさを改めて感じることが出来ました。

8年が経ち、色々なものが復興されていました。前回の津波被害から学び、作り直された堤防を見学しました。ガイドさんが、またいつ来るかわからない災害に向けて自分で自分の命を守る意識を持って伝承していくと聞いて、身の引き締まる思いでした。

午後から浄土ヶ浜で遊覧船に乗りました。遊覧船では、ウミネコ



浄土ヶ浜にて女性部一同で記念撮影

にパンやかっぱえびせんなどで餌付け体験ができ、部員の中には1ヶ100円のパンを買い、ウミネコに餌やりをしている方もいました。

今回の研修は、例年の研修に比べ少し距離も時間もかかりましたが、足を延ばした事で震災のその後を見ることが出来ました。

震災だけでなく、これから来るかもしれない大雨や台風など心配をしつつ防災の事を考えながら、帰路に着きました。

地域おこし協力隊 活動記 Vol.52



地域おこし協力隊の佐野です！

青森の短い夏が終わり、朝晩はだいぶ過ごしやすくなってまいりましたね。今号では「お山参詣」についての記事を書かせていただきます。

津軽の人々にとって『岩木山』はかけがえのないシンボル。旧暦の八月一日に「五穀豊穡」と「家内安全」を祈願して、岩木山に集団登拝する行事がこの「お山参詣」。御神体である岩木山と一体となる事により、自己の浄化を目指すことされ、国の重要無形民俗文化財にも指定されているのですが、実は私、弘前出身でありながら「お山参詣」は初参加なのです（汗）。そんな私の感想なども含めてお読みいただけます。幸いです。

協力隊は2日目の宵山に参加させていただきました。前日の大雨から一転、朝から気持ちのいいお天気！登山囃子が響き渡る中、「懺悔懺悔（サイギサイギ）」から始まる唱文を唱え、一路岩木山神社へ。途中の休憩所では、相馬の皆様の激励をいただきながら、無事歩ききる事が出来ました。子ども達も本当によく頑張りました！

岩木山神社に到着後は神殿内でご祈祷。それぞれのご家庭から、願いを託して携えてきた「ぼ（ん）のごさし」を祭壇へ。ご祈祷していただきながら心身清められる思いでした。

その後はバダラ踊りをしながら下山。登拝の時にはない軽快なリズムでの舞には、参拝を無事に済ませた安堵と喜びが表現されているように感じました。

実は、岩木山神社に到着した時、色々な思いがこみ上げて来て、ひとり目頭が熱くなっております。弘前にUターンしてきて2ヶ月の私ですが、今まで外側から見れていたものだった地域の伝統行事に、こんな風に関わらせていただいている事や、相馬有志会の一員として、大切なお供え物や御幣を運ばせていただいた事、本当に有難い事でも感謝しております。

これからも、どうぞよろしくお願いします！

へばね

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



今日も農協の役員室。昔、本県の農協に、組合長・専務が居る役員室に組合員が入る場合、一々靴を脱ぎ、スリッパに履きかえて入らなければならなかったり、津軽の某農協の場合、役員室の奥に「奥の院」があつて、組合長だけが専務と別に、そこに居たという農協もあつたそうだが、オラ方の農協は、敷居が低くて、誰でも、長靴のままでも入ることができる。

オラ方の農協の役員室は「敷居の低いサロンでもあり、ゴダグ（語駄愚）を語れる民主的な場でもある。

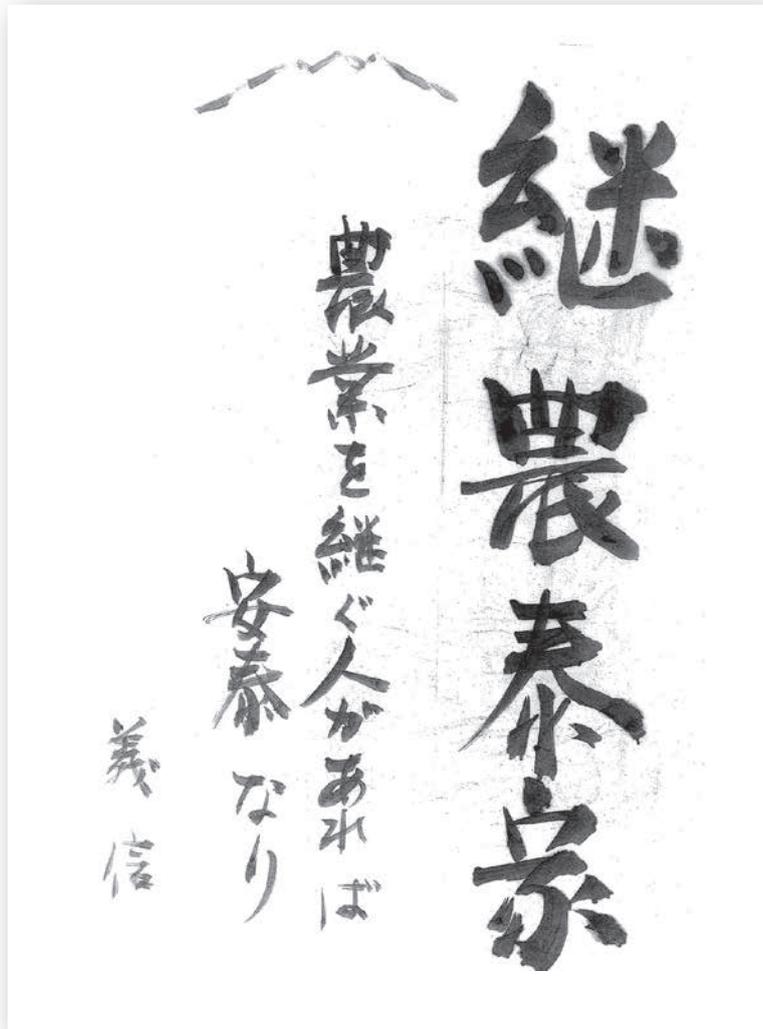
今日は国吉のゴヤキリが来ていた。何を語っているか——「組合長！ 困ってまたジャ。孫が中学校の通信簿がよくて、トップの五人の中に入っているんだ」「組合長「ウーン どちらの血統だべ」

ゴヤキリ「それや、オレエ

の方のよ…母親の方でなく…」組合長「それは困つたものだよ！ 中学校、高校の成績がよくて、大学へ行けば、家に居なくなるよ！」ゴヤキリ「ウーン、後継ぎが地元に住なくなった家の暮…草、茫々だな——」

孫が学校から帰ってきたら、予習・復習などをさせないで、畠に連れて行って手伝わせるのよ。そして、サツ（札）をくれるのよ。すると、りんごの技術も覚えるし、カネは貯るし…」

（昭和の初期、西津軽郡の某村に、村長が次男を弘中一早大に入れたが、長男を高等小学校だけにした。その家は今も泰然として農業を続けている。土蔵が二棟。）



J A相馬村 職員募集

- 応募資格 高卒以上、または令和2年3月卒業見込み者。
- 募集人数 若干名（男女不問）
- 職種 J A業務全般
- 採用条件
 - ①採用試験に合格した者として。
 - ②採用後は臨時職員（アルバイト）とし、のちに正職員採用制度により正職員として就業できます。
 - ③採用は令和2年4月1日の予定です。
- 応募書類 受験願書はJ A相馬村本所 総務課にあります。
- 応募締切日 令和2年10月31日（木）
- 試験日等 後日、応募者に直接お知らせいたします。
- 試験内容 一般常識・作文・面接



- 1) 決算書類監査結果について
- 2) 全国監査機構監査部監査報告について
- 3) 7月末残高試算表について
- 4) 役員候補者推薦会議委員の承認について
- 5) 役員選任規程内規の一部変更について
- 6) 第10次経営・振興三ヶ年計画について
- 7) 第55回通常総会開催について
 - ① 通常総会参考書類の承認について
 - ② 議決権行使書面の取扱いについて
 - ③ 決算書類及び部門別損益計算書の承認について
- 8) ギャップ分析について
- 9) 貸付関係について
- 10) りんご販売関係について

九月の川柳
お互いに
心ゆくまで夏堪能
防除終え
気分爽快一呼吸
葉かげから
つるく顔コ撫でる手コ待つ



(田沢勝衛)

編集部のつぶやき～編集後記～

9月に入り林檎の収穫や私の大好きなお米の収穫も始まりお忙しい人も増えてきたと思います。輪をかけるように気温が真夏日を記録する日が続き私も暑さとの戦いの日々が続いていました。

当農協最大の行事「第55回通常総会」が25日に行われますので、皆さんの万全な体調でのお越しをお待ちしております。 By tomoshi

共済課からのお知らせ

今年度より払込証明書は全て自宅へ直送される事となりました。また、9月以降の契約については掛金が入金され次第順次発送されますので、お急ぎの場合はお早めに本所共済課までお問い合わせください。

今月のあなたの運勢 ★ 10月 ★

モサ・オサンドラ



♈ 牡羊座 * 3/21 ~ 4/19

全体運
周囲に振り回されやすい期間。やたらと考えを変えず、貴く意志を大切に。気晴らしには美術館巡りが最適

健康運
体力過信は厳禁。十分な睡眠を心掛けて

幸運を呼ぶ食べ物
エノキタケ

♉ 牡牛座 * 4/20 ~ 5/20

全体運
普段より行動範囲が狭くなりがち。意識して目新しいことに興味を持って。発想力アップにはハーブティーが◎

健康運
ゆとりのある精神状態が運氣好転の鍵

幸運を呼ぶ食べ物
ラッカセイ

♊ 双子座 * 5/21 ~ 6/21

全体運
活躍の場が広がります。やってみたくことをアピールすると、希望がかないやすいでしょう。投稿や応募にツキ

健康運
スポーツの秋を満喫。快活に過ごせそう

幸運を呼ぶ食べ物
伊勢エビ

♋ 蟹座 * 6/22 ~ 7/22

全体運
想定外のハプニングが発生しやすいよう。いたづらに動揺せず、まずは深呼吸で心を静めて。開運には花が効果大

健康運
ストレスを感じがち。食べて発散はNG

幸運を呼ぶ食べ物
ごま

♌ 獅子座 * 7/23 ~ 8/22

全体運
新しい習い事や趣味を始めると、人脈の輪が広がります。好奇心も旺盛になる予感。流行に注目すると吉

健康運
体を動かすほど、体調に良い影響あり

幸運を呼ぶ食べ物
エリンギ

♍ 乙女座 * 8/23 ~ 9/22

全体運
じっくり好きなことに取り組むチャンス。感性に磨きをかけるのに向いているので、美しい物に触れてみて

健康運
食欲の秋で体重増かも。運動を忘れずに

幸運を呼ぶ食べ物
サバ

♎ 天秤座 * 9/23 ~ 10/23

全体運
独力では難しいことも周囲のサポートを得て、実現可能に。普段より決断力が上がるので、リーダーにも適任

健康運
汗を流して、デトックスを。ヨガにツキ

幸運を呼ぶ食べ物
ムカゴ

♏ 蠍座 * 10/24 ~ 11/22

全体運
ルーズになりやすい暗示。後回しにするで面倒になるので、早めに済ませて。氣力上昇にはフットマッサージを

健康運
疲労をため込まないのが健康の秘訣です

幸運を呼ぶ食べ物
サンマ

♐ 射手座 * 11/23 ~ 12/21

全体運
対人面が華やく兆し。素直に気持ちを言葉にすれば、こじれていた関係さえ修復できるはず。イメチェンも幸運

健康運
健康グッズに注目を。逸品に出会えます

幸運を呼ぶ食べ物
イチジク

♑ 山羊座 * 12/22 ~ 1/19

全体運
プレッシャーが増す傾向。1人で抱え込まず、信頼できる人に相談を。ティータムでリフレッシュも大賛成

健康運
体調管理を心掛けたい時期。休息も重要

幸運を呼ぶ食べ物
ユズ

♒ 水瓶座 * 1/20 ~ 2/18

全体運
向上心が高まりそう。ジャンルを問わず、全てに積極的に関われば、多くを吸収できます。遠出の旅もグッド

健康運
筋トレに力を入れて。体力増ができるはず

幸運を呼ぶ食べ物
トウガン

♓ 魚座 * 2/19 ~ 3/20

全体運
過去に執着してしまう気配。少しでも楽しいことに目を向けてみて。嫉妬心を抱いたら座禅をすると気分転換に

健康運
刺激物の摂取量が増えるもよう。自重して

幸運を呼ぶ食べ物
サツマイモ

表紙物語

今月の表紙は8月20日に、お山参詣2日目の宵山での「コマ」である。

相馬支所を午前7時に出発し、湯口支所まで「サイギサイギ」と唱えながら五穀豊穡、家内安全を祈願して練り歩いた。

村内を歩く道中には多くの地域の方が一目見ようと道路脇に集まり、一緒に掛け声を出し楽しんでいった。地域の人の中には「サイギサイギの声を聴くと興奮して家の中に黙っていられない。」という声もあり、このような行事を継承している人達にとって、とてもうれしい言葉だと感じた。

また、今年のお山参詣には全国的に有名な特別ゲストも参加しており、観覧した地域の方は応援しながら楽しんでた。同時にお山参詣という行事も全国的に注目されているという事だと分かった。

近年異常気象や災害が後を絶たないが、「お岩木山」への礼拝を通じて作物の出来秋を祈願していきたい。



囃子がお山参詣の空気を創り上げる



沿道からの声に応えながら練り歩く



JA相馬村本所でも旗揚げが行われた



園児達は登山囃子を聞くと拍手で迎えた

JA相馬村広報

りんごのもり
林檎の森

2019.9 Vol.446

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2019年9月15日

JA 相馬村概況

〈令和元年8月末日現在〉

| | |
|-----------|-------------|
| 組合員数 | 867人 |
| (うち准組合員数) | 362人 |
| 出資金 | 628,330千円 |
| 貯金額 | 9,287,071千円 |
| 共済保有高 | 3,376,522万円 |